

臼杵市 施策評価シート

(令和6年度)

評価 担当課	課名 上下水道課
-----------	-------------

コード	VI-18-43	施策名	生活排水処理対策・浸水対策の推進
まちづくりの 目標	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)		施策の方針 市民の暮らしと調和した生活空間を形成する
5年後の めざす姿	家庭からの生活排水は、集合処理施設 エリアの接続促進と合併処理浄化槽による個別処理方式への切替えを推進することで、海や河川の水質を保全します。効果的な浸水対策を行うことで、台風等の集中豪雨による浸水被害を最小限に抑えます。		
施策の課題	公共下水道施設・管路について、初期に整備したものは供用開始から40年以上が経過しているため老朽化が進んでいます。施設の更新はストックマネジメント計画に基づき国の補助金を利用し実施していますが、事業費が大きく施設の更新には時間を要しています。また、合併処理浄化槽の設置については、補助限度額を超える費用等は個人負担であることから整備には慎重になることが考えられます。雨水整備は多額の事業費と長期的な事業期間を要するため、シミュレーションによる浸水軽減効果と事業費を勘案し、効果的な対策から段階的に実施する必要があります。		

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画 >

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
生活排水処理率		汚水処理人口の普及に係る総括表(生活排水処理施設整備人口÷行政人口)	目標	%		68.7	69.2	69.7	70.3	73.6
			実績		67.5	69.1	70.1	71.5	72.5	75.1
			達成率	%		99.9%	99.9%	100.5%	103.1%	102.1%
公共下水道の接続率		汚水処理人口の普及に係る総括表(接続人口÷接続可能人口)	目標	%		83.0	83.5	84.7	84.8	87.0
			実績		83.0	84.6	85.1	85.6	86.1	86.8
			達成率	%		100.5%	101.3%	100.4%	101.5%	99.8%
合併処理浄化槽の普及率		汚水処理人口の普及に係る総括表(接続人口÷行政人口)	目標	%		16.2	17.1	17.8	17.9	20.5
			実績		15.8	17.0	17.7	19.0	19.6	22.3
			達成率	%		104.8%	103.5%	105.6%	109.5%	108.7%
浸水対策進捗率		浸水対策累計事業費÷浸水対策総事業費	目標	%		24.7	32.5	34.3	45.8	63.0
			実績		17.7	24.7	35.8	47.3	53.1	64.0
			達成率	%		96.4%	105.8%	132.7%	115.9%	101.6%
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	生活排水処理率は、公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水の各事業の整備が終了していることから、今後は合併処理浄化槽の普及を推進し生活排水処理率の向上を図って参ります。公共下水道の接続率は、訪問活動等により向上しています。合併処理浄化槽の普及率は令和6年度には前年度比2.7%向上しています。浸水対策進捗率は、狭間第4雨水幹線の整備に着手したことから順調に推移しています。							

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	浸透度
向上領域	2.64	2.06	85.04%
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域			
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度 向上領域	令和4年度 向上領域	令和5年度 向上領域

満足度

2.30

2.20

2.10

2.00

1.90

1.80

1.70

2.3

2.4

2.5

2.6

2.7

必要度

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	公共下水道汚水整備事業	公共下水道における普及率の向上を図るための面整備の促進及び終末処理場の施設更新としての長寿命化事業	上下水道課	64,892	181,431	有	順調	向上	大	○
2	公共下水道雨水整備事業	浸水常襲地帯である市浜地区の浸水対策	上下水道課	94,415	205,057	有	順調	向上	大	○
3	浄化槽設置費整備事業(個人)	個人が設置する浄化槽に対する補助金交付	上下水道課	95,548	67,992	有	順調	向上	大	○
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計				254,855	454,480	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化.. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討.. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	公共下水道事業は生活環境の改善や水質保全に有効ですが、地形や人口密度によっては浄化槽で個別処理の方がコスト的に優位性があるため、今以上の面整備は行わず接続促進と適正な維持管理に努め効率的に運営していくこととしています。また、補助金制度により、単独処理浄化槽および汲み取り便槽から合併処理浄化槽へ転換が促進され、公共用水域の水質保全・生活環境の改善が図られています。また、浄化槽は地震にも強く、適正な維持管理を行えば、下水道と同程度の処理能力を有しています。浸水対策としては、H29、H30の2年連続の台風により市内各所で浸水被害が発生したことから、雨水整備は市民の生命財産を守る重要な事業であると考えています。整備にあたっては、事業費に対して浸水軽減効果が大きい整備を優先し選定することとしています。